

資料提供	
令和5年10月3日	
実施校 (担当者)	鳥取県立鳥取西高等学校 教頭 安治 誠一郎
電話	0857-22-8281

本校・松田裕史教諭（英語科）が、
Global Teacher Prize ファイナリストに選ばれました

本校の松田裕史・英語科教諭が Global Teacher Prize ファイナリストに選ばれましたので、資料提供します。

Global Teacher Prize は、「教育界のノーベル賞」とも言われる賞です。イギリスの国際教育機関「パーキー財団」が2015年に設立した国際的な賞で、教科の専門性や、教師個人の能力を評価するのではなく、さまざまな環境下で実践できる優れた教育活動を表彰しています。エントリーから審査によってトップ50を選出後、さらにトップ10まで絞り込み、最終的に最優秀賞を受賞する優れた教師1名を選びます。

今年度は、130カ国、7000人の応募者があり、本校・松田教諭はファイナリスト（50名）に残っています。ファイナリストの中にアジアからは12名、日本人は松田教諭ただ1名です。

松田教諭は、これまでの教職経験から「Deep Active English」という教授法を開発しました。これは松下佳代教授（京都大学）が提唱する「Deep Active Learning」を英語教授法として体系だてて導入した教授法です。松田教諭は、英語をコミュニケーションの道具としてだけでなく、英語を使用する人々の文化的背景まで理解することをとおして生徒の英語力を伸ばしています。

なお、トップ10は10月中旬に発表予定です。

<参考>

<https://www.facebook.com/teacherprize/videos/288365367315717>

<https://globalteacherprize.org/pages/2023-finalists-globalteacherprize>